

9月10日(土)

西多摩教組連続講座

# もうひとつの五日市憲法

・講師 村山 正栄氏(大久野小)

・集合 武蔵五日市駅9時



内山家ブロンズ墓



五日市憲法の碑

＜当日のスケジュール＞

武蔵五日市駅 → 勸能学校(五日市小前身)跡  
→ 阿伎留神社 → 内山家ブロンズ墓  
→ 五日市銀行跡 → 五日市憲法碑(五日市中)  
→ 深澤家土蔵・墓 → 昼食(解散)

五日市憲法とは

1968(昭 43)年に東京経済大学色川大吉教授らによって深澤家土蔵から発見された憲法草案。人権主義・立憲主義の観点から書かれ、全 204 条から成る。教授らは五日市の人たちが討議して作られたものとして「五日市憲法」と名づけた。成立は 1981(明 14)年頃か？

残念なことに「自民党は改憲をあきらめていない」との昨年の村山講師の予見は的中してしまった。先の参院選は改憲論議が争点になるところだったが、自民党・公明党はひた隠しを通した。自民党が公明党を取り込むための次の秘策があるに違いないと講師は考える。その内容は自民党改憲案にあると解く。

今回のフィールドワークは憲法誕生期の五日市を垣間見る。国会議員だった内山家のブロンズ墓(彼の洗礼地はヤソとして現存)。都市銀行の翌年(明治 29 年)誕生した五日市銀行跡、卓三郎の宿小河内屋も訪ねる。歴史は現在を照らす鏡でもある。

参加連絡 村山まで